

## ヒブ(インフルエンザ菌 b 型)ワクチン

ヒブ(インフルエンザ菌 b 型)は、乳幼児の化膿性髄膜炎、敗血症、喉頭蓋炎など重篤な全身感染症の原因となっています。ヒブによる髄膜炎は、年間約400人が発症し、約11%が予後不良と推定されており、生後4か月から1歳までの乳児が過半数を占めています。

欧米ではワクチン導入後、ヒブ重症感染症は劇的に減少しました。このため、世界110カ国以上で導入され、効果は高く評価されています。

接種後の副反応は、発赤や腫れなどの局所の副反応が報告されています。

対 象 者…生後2か月以上5歳未満の子ども

接種回数・間隔…接種開始年齢によって回数が変わります。

・開始が生後2か月から7か月未満(標準)

初回接種: 27日から56日の間隔をおいて3回接種

追加接種: 初回終了後、7か月から13か月の間隔をおいて1回接種

・開始が生後7か月から12か月未満

初回接種: 27日から56日の間隔をおいて2回接種

追加接種: 初回終了後、7か月から13か月の間隔をおいて1回接種

・開始が1歳から5歳未満 1回接種